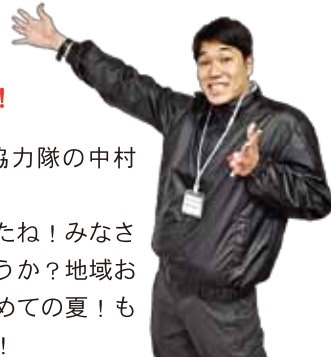


協力隊 が行く!



今月の担当は りんね隊員です!

こんにちは! 地域おこし協力隊の中村
琳音です!

暑さがさらに増してきましたね! みなさん、熱中症対策は万全でしょうか? 地域おこし協力隊に着任してから初めての夏! もうすでに日焼けで真っ黒です!



稚内市を訪問しました!

枕崎市・稚内友好都市10周年記念の市民訪問団として「日本縦断」枕崎から稚内へ3泊4日の旅に参加しました!

私にとつては、初めての稚内。日本の北端へ向かうと思うとワクワクがとまりませんでした! 旭川駅から特急宗谷に乗り稚内駅へ。駅の車窓からは、牛や羊を放牧している様子が見えました。北海道は白樺の木が多く、鹿児島島の濃い緑とは違う淡く薄緑のイメージがつかまりました。

約4時間かけ稚内駅に到着しました。正直、座りっぱなしで少し疲れもありましたが、稚内の住民の方々や稚内駅の駅長・稚内副市長に歓迎を受け一瞬で疲れが飛びました。

日本最北端の地の碑のある宗谷岬へ向かっている時は、ほとんどが海沿いの道で時折海の岩場にゴマフアザラシをみつけました! 枕崎では見ることに驚きました。宗谷岬に到着し感じたことは、とにかく湿気がなかったことです。遮るものがなく、目で写せる範囲全て海! 色がとても青く澄んでいて綺麗でした。

夜には、稚内港北防波堤ド

ムにて歓迎レセプションが行われました。料理には、ホタテ・イクラ丼・カニなどが振る舞われ、ドリンクには本場のビールや枕崎市の薩摩酒造で醸造された「じゃがいも焼酎 勇知」などがありました。

観光客として客観的に北海道の観光施設や街並みを見ることができました! また、稚内市の方には手厚い歓迎をもらい街の人の暖かさや、他の地域が行っている活動で、良いと思ったことをすぐ行動に移す姿勢がすごいなと思いました。私もこれから客観的な視線を大切に、良いと思ったことはすぐに取り入れ枕崎のために活かしていきたいです!

枕崎にきてから初めての夏

今年の梅雨は本当に短かったです! 日数だと16日間となり、観測史上最短だった1964年の21日間を更新したそうです。今年は46日間。どれだけ短かったか分かりますね(笑)

私は、現在バイクを使い通勤していますがカッパを着る機会が少なかった気がします。熱中症に気をつけながら、早く来た夏を全力で楽しんでいきたいです!

市長

コラム

vol. 40

海への思い



7月18日の海の日、海洋センターに展示しているヨット「ガンバリ号」の補修を祝うセレモニーが開催されました。「ガンバリ号」は昭和59年に日系2世のアリス・オツジ・ハイガーさんが1人で太平洋を横断した際に使用したヨットです。その後、21世紀の青少年に向けた海洋思想の普及を図る目的で枕崎市が購入し、昭和61年から35年間に渡り海洋センター艇庫横に展示してきたものです。このたび、老朽化を理由に廃船の計画をしておりますが、夕風会の皆様をはじめとした有志の方々のご協力により、補修、塗装を施していただき、元の姿に生まれ変わりました。セレモニーでは、夕風会代表の城戸様、後援をいただいた枕崎市漁協の市田組合長より、このヨットと当時のアリスさんのチャレンジ精神への畏敬、そして海への熱いメッセージをいただきました。また、アリスさんが太平洋を横断し鹿児島に寄港された当時、鹿児島島の港でアリスさんに出迎えた花束を渡し、その後、ご自身もヨットでの太平洋横断を達成された今給黎教子さんからは、当時のお話や、この「ガンバリ号」とのエピソード、アリスさんのチャレンジ精神がご自身の行動に影響を与えたことなど、ご披露いただきました。あらためて、皆さんの海への熱い思いに心を打たれました。

この8月、3年ぶりに「さつま黒潮さばらん海・枕崎港まつり」も開催されます。南浜館では、水中写真の第一人者である中村征夫写真展「海への旅」という企画展を開催中です。中村さんは世界中の海に潜って体験された海の豊かさ、面白さ、可能性など海への熱い思いを私に語ってくださいました。

海からの恵み、海と共に生きてきたこの枕崎に住むものとして、8月のこの時期、あらためて海への思いをめぐらせてみるのもいいかもしれません。